

令和5年度事業報告

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構

事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

【概要】

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてから4年が経過し、収束しつつある中で感染拡大防止と社会経済活動の両立をどう図るのが課題となっている。国、地方自治体と地域の医療機関が連携してワクチン接種が迅速に行われ、致死率や重症化率が以前より低下したことから、国の感染対策方針も大きく変わった。そうした状況のなかで、国内外の観光客が昨年あたりから少しずつ動き出し、観光客の拡大と観光消費による経済効果が期待される状況になってきた。しかし、地域の観光産業のおかれた状態はまだまだ厳しく、今後も観光産業と経済活性化に向けた国の継続支援が期待される。

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を注視しながら、町内の多様な観光資源の魅力を最大限に活用した観光事業を積極的に推進した。さらに、矢掛町の観光の核となる矢掛商店街を中心とした「まるごと道の駅」への誘客促進と町内の多様な魅力についての情報発信を実施した。

公益事業として、まるごと道の駅活性化事業では、町内外から商店街への誘客を促進するため、「矢掛大茶会」を企画し、茶道体験や講師を招いての講演会も行った。また、同日に商店街への回遊を図るため町家交流館において「和菓子マルシェ」を開催し、約1,000名を誘客した。また、道の駅開業から開催している「やかげ華まつり」を開催し、約3,500名を誘客した。矢掛まるごと道の駅イベント事業では、町内への誘客及び町内の活性化を促進するため「やかげキッズフェスティバル」を企画実施し、矢掛中、矢掛高校生徒及び岡山大学学生約50名にボランティアとして協力していただき運営した。2日間で約6,000名を誘客した。さらに、山陽道やかげ宿の市事業では、商店街の活性化を促進するため、商店街にある空き家や空き店舗を活用してアート作品やクラフト作品を展示販売する「やかげ作家さんぽ」を企画実施し、3日間で約2,000名を誘客した。

まるごと商店街賑わいづくり創出事業では、矢掛町の最大イベントといえる「矢掛の宿場まつり大名行列」をテレビ局と連携し、町内外への情報発信としてイベント当日だけでなく、一定期間周知しながら継続的に情報発信を行った。また、商店街及び町内全域への周遊促進のためスマートフォン等で閲覧可能なデジタルマップを活用し、来訪者の周遊を図った。

古民家再生した矢掛ビジターセンター問屋における賑わい創出事業では、矢掛町のイメージ戦略として「クリームソーダ」を素材に若者等の集客を目的としたキャンペーンを企画し、飲食店14店舗と協働で実施した。キャンペーン期間を約1カ月間とし、約7,000名を誘客した。また、秋には「さつまいも」を素材に飲食店と連携して、キャンペーンを企画し、飲食店21店舗と協働で実施した。キャンペーン期間を約2カ月間とし、約3,000名を誘客した。また、矢掛町の特産品であるリーキのPRのため矢掛町のリーキのテーマソングを制作しPR動画を作成した。来訪者のニーズや動向データを収集するため町内3施設で合計1,400件のアンケート調査とデータ分析を行った。観光情報の発信についてはラジオを毎月2本、テレビ2番組とCM15本、新聞広告と折込等を積極的に行った。さらに、SNSを活用し、日常的な情報発信も行った。誘客促進事業として観光PRイベント等に参加し、町内の観光情報を中心にプロモーションを実施した。また、テレビ局とコラボした情報発信イベントへの参加やANAや天満

屋岡山店での観光や特産品のPR活動を行った。昨年に引き続き旅行会社向けのツアー助成についても実施した。

矢掛町観光コーディネイト事業では、インバウンドモニターツアーを実施し、受入体制の整備、外国人向け観光コンテンツのブラッシュアップ、観光プロモーション活動を行った。矢掛町への観光を希望するお客様や旅行会社へ滞在プランの提案や相談に対応し、町並案内人の予約等のオペレーションやガイドの育成を行った。また、矢掛町を訪れた観光客に飲食店やお土産販売店舗などの観光情報を伝えるため、矢掛町内の飲食店等の店舗や見どころを掲載したパンフレットを作成した。

さらに、広域での観光連携を推進するため井笠管内を中心とした近隣観光連携体制強化と広域での観光素材のブラッシュアップを目的にモニターツアーを実施した。

収益事業としては、矢掛ビジターセンター問屋の指定管理を受託し、施設の維持管理を行いながら道の駅山陽道やかかげ宿と連携した情報発信や観光客を商店街や町内の観光スポットへ誘客した。また、町並ガイド育成事業として、観光ボランティアへの参加募集と育成を行った。

アルベルゴ・ディフーズ（分散型ホテル）や古民家再生事業、まるごと道の駅や重伝建選定による観光の取組状況等についての視察受入を行った。

また、矢掛町の観光ホームページである『やかげ観光ネット』の保守が終了することに伴い、やかげDMOのホームページ『Your Home Town Yakage』へ掲載内容を移管することに伴うホームページの改修を行った。

【重点業績評価指標（K P I）】

K P I		2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績
延べ宿泊者数（人）		6,629	6,869	6,184	5,982
観光入込客数（人）		296,656	334,498	275,645	524,024
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,157	2,356	2,436	2,366
	宿泊 観光客	19,794	17,922	20,273	18,951
リピーター率（%）		56.95	64.70	70.95	68.67
観光客満足度（%）		77.25	84.00	86.16	86.63
WEBサイト アクセス件数（件）		161,138	167,292	150,332	160,029

K P I		2022年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績（速報値）	備考
延べ宿泊者数（人）		7,556	6,161	6,704	
観光入込客数（人）		554,567	539,744	581,411	
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,744	2,861	1,712	
	宿泊 観光客	17,777	21,782	21,496	
リピーター率（%）		69.25	65.00	65.40	
観光客満足度（%）		90.05	86.00	93.46	
WEBサイト アクセス件数（件）		159,374	164,829	48,706	

※延べ宿泊者数＝矢掛屋宿泊者数+備中屋宿泊者数+蔵 INN-KAMON 宿泊者数+蔵 INN-KURABI 宿泊者数

※観光入込客数＝岡山県報告数値（暦年）

※観光消費額＝アンケート調査から算出した額

※リピーター率＝アンケート調査から算出した数値

※観光客満足度＝アンケート調査から算出した数値

※WEBサイトアクセス件数＝矢掛町観光ホームページアクセス件数

矢掛町観光ホームページは令和6年3月31日をもって、DMOの観光ホームページ「Your Home Town-Yakage-」に1本化されたため、

2023年度のWEBサイトアクセス件数はDMOの観光ホームページのアクセス件数となっています。

1. まるごと道の駅活性化事業

(1) 商店街誘客促進

町内外から商店街への誘客を促進するため、「矢掛大茶会」を企画した。日本の伝統文化であり、多くの愛好家がいる“茶道”をコンテンツとし、町内の茶道団体をはじめ近隣の茶道団体と連携しイベントを開催した。

やかげ郷土美術会場をメイン会場として、茶席を設け本格的な野点による茶道体験を行った。

また、講師には真葛焼の次期当主の宮川真一氏をお招きし、茶道に欠かせない茶道具の茶碗をテーマとした講演会を行った。さらに、美術館内の展示室において貴重な茶碗の展示を行った。

さらに、商店街への回遊を図るためやかげ町家交流館において24店舗が出店する和菓子マルシェを開催し、同時に和菓子の木型を使った消しゴムづくりのワークショップを開催した。

【実施期間】

令和5年11月3日

【お茶席来訪者】

227名

【講演会参加者】

140名

【矢掛商店街来訪者】

1,000名

【ワークショップ】

50名





(2) やかげまるごと道の駅イベント事業

矢掛商店街及び矢掛町全体がまるごと道の駅という構想により、町内への誘客及び町内の活性化を促進するため「やかげキッズフェスティバル」を企画実施した。矢掛町総合運動公園を会場にし、町内外の小学生以下の子供をターゲットとして子供が楽しめる内容のイベントを検討し、開催日数も2日間に設定し実施した。

また、矢掛中学校、矢掛高校の生徒及び岡山大学の学生約50名にボランティアとして協力していただき運営した。SNS等を活用し、矢掛町の情報発信に努め、多くの来場者をもたらし、同時に矢掛商店街等のPRも行い町内の周遊促進を行った。

【実施日】令和5年10月21日・22日

【来場者数】約5,760名(2日間)



(3) やかげ華まつり事業

矢掛町の春のイベントとして町民や観光関係団体等と連携し、花の作品展示や日曜朝市、ステージイベントなどを一体的に開催することで、矢掛商店街への誘客を行った。花の作品展示には華道団体、フラワーアレンジ教室や地域住民のグループ13団体に参加いただき、矢掛商店街13カ所で作品展示を行った。また、矢掛商店街に新たに完成したやかげ西町ステージイベント会場では町内及び近隣から鼓の演奏や太鼓の演奏など、各種団体に参加いただき会場を盛り上げていただいた。商店街全体の周遊を促進するため別会場（元町）では備中神楽の演舞や矢掛商店街を周遊するスタンプラリーも行った。

【実施日】 令和6年3月24日

【来場者数】 3,661人



(4) 山陽道やかげ宿の市事業

町内外からの誘客と道の駅山陽道やかげ宿から矢掛商店街に観光客を誘導し、商店街の活性化を促進するため、商店街にある空き家や空き店舗を活用してアート作品やクラフト作品を展示販売する「やかげ作家さんぽ」を企画開催した。さらに、手作りのノートやオリジナルカップが作れるワークショップを開催することで子供から大人まで体験を通じてイベントを楽しんでもいただきながら、滞在時間の延長に努めた。

【実施日】

令和5年10月7日～9日（3日間）

【出店数】

20店舗

【来場者数】

約2,000人



2. まるごと商店街賑わいづくり創出事業

(1) 大名行列ブラッシュアップ事業

「矢掛の宿場まつり大名行列」と連携して、町内への誘客と知名度向上を目的にイベントチラシの作成配布やテレビやSNS等での情報発信を行った。

【チラシ作成】

14,500枚(新聞折込)

【テレビCM】

15本

(2) 商店街周遊事業

矢掛商店街及び町内全域への周遊促進のためスマートフォン等で閲覧可能なデジタルマップ(プラチナマップ)を活用し、来訪者の周遊を図った。さらに、さつまいもを使ったキャンペーン「おいもが いーもん」の期間中は、スタンプラリーを実施した。

【プラチナマップビュー数・利用者数】

ビュー数 約27,000回

利用者数 約8,300名

3. 古民家再生した矢掛ビジターセンター問屋における賑わい創出事業

(1) 特産品の開発(ブランディング)

矢掛町の飲食店と連携し、「クリームソーダ」を使った矢掛町のイメージ戦略としてキャンペーンイベント「クリームソーダ IN 矢掛」を実施した。

【実施期間】

令和5年4月29日

～5月31日

【参加店舗数】

14店舗

【来訪者数】

約7,000人



矢掛町の飲食店と連携し、「さつまいも」を使った矢掛町のイメージ戦略としてキャンペーンイベントを実施した。

【実施期間】

令和5年11月19日
～令和6年1月31日

【参加店舗数】

21店

【来訪者数】

約3,000名



矢掛町の特産品であるリーキのPRのため矢掛町のリーキのテーマソングを制作しPR動画を作成した。

【テーマソング・PR動画】

各1本制作



(2) マーケティング事業

①観光アンケートの実施及び分析

矢掛町を訪れる観光客及び観光事業者等に継続してアンケート調査を行い、観光ニーズを分析した。水車の里、やかげ町家交流館、道の駅山陽道やかげ宿にてアンケートを実施した。

また、岡山大学と連携して、イベント来場者に対しヒアリング調査を行い、消費額等のアンケート調査及び分析を実施した。

【アンケート実施期間】

令和5年4月～令和6年2月

【アンケート件数】 1, 400件

【ヒアリング調査実施日】

令和6年3月15日（館址亭サービスデー）

【ヒアリング件数】

150件

【ヒアリング調査実施日】

令和6年3月24日（やかげ華まつり）

【ヒアリング件数】

137件

(3) 観光コンテンツ拡充・情報発信・誘客促進事業

①観光資源魅力化事業

夜間のコンテンツの造成と誘客に向けたツアー商品開発のため「やかげ小唄おどり」を素材としたモニターツアーを実施した。

【実施日】

令和5年8月26日

【ツアー参加者数】

17名



②観光情報発信事業

- ・観光ホームページ，SNS，アプリ等による情報発信

ホームページ等を活用し、矢掛町における観光情報を発信した。また、プラチナマップや SNS (Facebook, Instagram, Twitter 等) を活用し、情報発信を行った。

- ・テレビ・ラジオ等による情報発信

観光情報等についてメディアを通じて発信を行った。実施内容は次のとおり。

会社名等	区分	番組名称等	内容	放送時期等
山陽放送 (RSK)	AM ラジオ	あもーれ！マッターリーノ	矢掛町の旬な話題	毎月1回(全12回) 第4木曜16時頃～
岡山シティエフエム (レディオモモ)	FM ラジオ	街ブラ RADIO Your Home Town やかげ (おはよう矢掛通信)	矢掛町の旬な話題	毎月1回(全12回) 第1土曜9時～9時30分
岡山放送 (OHK)	テレビ	ミルンヘカモン！ なんしょ ん？	OIMO-FES おいもがい ～もん IN 矢掛	令和6年1月17日 16時頃～
山陽放送 (RSK)	テレビ	ライブ5時いまドキッ	やかげ華まつり	令和6年3月22日 17時頃～

③誘客促進事業

- ・旅行企画・誘致

近隣市町で開催される観光PRイベント等に参加し、町内の観光情報を中心に矢掛町のプロモーションを実施した。さらに、関西圏のテレビ局とコラボした情報発信イベントへの参加や全日本空輸(ANA)の羽田ビル内や天満屋岡山本店での矢掛町の観光や特産品のPR活動を積極的に行い矢掛町の魅力発信に努めた。





・旅行会社向けツアー助成

旅行会社による誘客促進のためのツアー助成金の制度を運用実施した。

【交付件数】

11件

4. 矢掛町観光コーディネート事業

(1) インバウンド推進事業

国内在住の外国人や大学等と連携したモニターツアーを企画実施し、外国人の受入体制の整備、外国人向け観光コンテンツのブラッシュアップ、観光プロモーション活動を実施した。

【実施日】

令和6年1月27日～28日

【モニター参加者】

11名



(2) 観光パンフレット作成事業

矢掛町を訪れた観光客に飲食店やお土産販売店舗などの観光情報を伝えるため、矢掛町内の飲食店等の店舗や見どころを掲載したパンフレットを作成した。

【発行部数】

15,000部



(3) 観光案内事業

観光客等のおもてなしとして活動している観光ボランティアの会のスキルアップを目的に接遇研修を行った。

【研修参加者】

20名



6. その他事業

(1) 広域連携事業

井笠管内を中心とした近隣観光連携体制強化と広域での観光素材のブラッシュアップを目的にモニターツアーを実施した。

【実施日】

令和6年5月21日

【モニター参加者】

11名



■収益事業

1. 矢掛ビジターセンター管理・活用事業

矢掛ビジターセンター問屋の指定管理を受託し、施設の維持管理を行うと共に道の駅と連携した情報発信や観光客を商店街へ誘客した。

【令和5年度来場者数】28,985人

2. 視察受入事業

アルベルゴ・ディフーズや古民家再生事業にまるごと道の駅や重伝建選定による観光の取組への視察受入対応を行った。

【有料視察受入：9件】



3. その他事業

(1) 町並み観光ガイド育成事業

観光ガイドの人材確保・育成等を目的としたガイドの募集を行った。

【実施日】令和6年3月2日

【応募件数】4名（うち加入4名）



(2) やかげDMOホームページ改修事業

矢掛町の観光ホームページである『やかげ観光ネット』の保守が終了することに伴い、やかげDMOのホームページ『Your Home Town Yakage』へ掲載内容を移管することに伴うホームページの改修を行った。